

## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 影島 光

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	165,636	△1.2	15,550	4.7	15,943	9.8	11,063	11.3
28年3月期第3四半期	167,588	8.5	14,853	42.2	14,520	25.8	9,937	25.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 9,280百万円 (3.9%) 28年3月期第3四半期 8,932百万円 (△18.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	107.16	—
28年3月期第3四半期	96.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
29年3月期第3四半期	278,734		179,418		61.8
28年3月期	270,038		170,586		60.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 172,364百万円 28年3月期 163,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—		
29年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の期末の1株当たり配当金(予想)には、創立100周年記念配当金5円を含んでいます。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	223,000	0.1	19,500	1.0	20,000	2.2	13,700	3.3
								132.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	103,651,442 株	28年3月期	103,651,442 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	762,033 株	28年3月期	365,531 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	103,238,828 株	28年3月期3Q	103,286,244 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2016年4月1日から同年12月31日）における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調が持続しましたが、英国のEU離脱及び米国大統領選挙の影響による金融市場の変動や中国及び新興国の成長鈍化などにより、先行き不透明な状況が続きました。国内は、雇用環境の着実な改善などにより緩やかな回復基調で推移しましたが、為替の変動や世界経済への先行きに対する懸念等もあり、景気の足踏み状態が続きました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、欧米及び中国市場での自動車販売が好調に推移しましたが、国内は力強さに欠ける状況が続きました。IT・デジタル家電分野は、スマートフォンなどモバイル端末の需要が先進国市場を中心に低迷しましたが、液晶ディスプレイ関連では、4Kテレビの販売が国内で好調に推移し、市場成長を牽引しました。製パン・製菓関連分野は、安定した国内需要に支えられ、堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画『STEP 3000-II』で掲げた「売上高3,000億円のグッドカンパニー」の実現に向けて、成長戦略を加速させています。海外では、米国の高機能添加剤設備及びフランスのワンパック顆粒添加剤設備の増強に着手しました。また、中国の艾迪科（上海）貿易有限公司は会社形態を投資性会社に変更し、「艾迪科（中国）投資有限公司」としました。さらに、「艾迪科精細化工（浙江）有限公司」の設立も進めています。このほか、ベトナムにホーチミン市駐在員事務所を設立するなど、事業規模拡大に向けた展開を積極的に行っています。食品事業では、関西圏のリテール市場に営業基盤を有する株式会社クラウンの株式を追加取得し、第2四半期より連結子会社化しました。なお、当第3四半期より、化学製品の専門商社である昭和興産株式会社の株式を追加取得し、持分法適用会社としました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,656億36百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は155億50百万円（同4.7%増）、経常利益は159億43百万円（同9.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は110億63百万円（同11.3%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

#### (化学品事業)

当事業の売上高は、1,099億54百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は135億16百万円（同2.0%増）となりました。

#### ①情報・電子化学品

光硬化樹脂や光重合開始剤は、光学フィルムやフォトレジスト向けの販売が国内外で堅調に推移しました。半導体材料は、3D-NANDに使われる製品の販売が堅調に推移しましたが、DRAM向け高誘電材料は低調でした。回路材料は、リードフレーム向けのエッチング薬剤が引き続き国内で堅調に推移しましたが、海外市場での生産調整の影響を受け、総じて低調に推移しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ減収減益となりました。

#### ②機能化学品

樹脂添加剤は、国内では自動車、住宅関連の回復により、造核剤、光安定剤などの添加剤及び塩ビ向け安定剤の販売が伸長しました。海外では、造核剤、透明化剤などの高機能添加剤や塩ビ向け安定剤が堅調に推移しましたが、円高による為替の影響を受けました。界面活性剤は、化粧品向けのグリコール系保湿剤や塗料・接着剤向けの反応性乳化剤が海外を中心に堅調に推移しました。潤滑油添加剤は、自動車エンジンオイル向けの添加剤が国内外で好調に推移しました。機能性樹脂は、水系ウレタンや自動車向け構造接着剤用の特殊エポキシ樹脂の販売が伸長しました。

機能化学品全体では、前年同期に比べ減収増益となりました。

#### ③基礎化学品

プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の需要が堅調に推移しました。過酸化水素は、生産・物流効率などのコスト削減に継続して取り組んだことに加え、同誘導品が液晶ディスプレイの電子回路用途などで需要が拡大したことにより、堅調に推移しました。

基礎化学品全体では、前年同期に比べ減収増益となりました。

**（食品事業）**

当事業の売上高は、494億76百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は17億39百万円（同44.2%増）となりました。

国内では、製パン、製菓、洋菓子向けにマーガリン、ショートニング類の販売が好調に推移したことに加え、株式会社クラウンの連結子会社化が寄与し、増収となりました。海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの市場が拡大し、販売が伸長しました。

食品事業全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

**（2）財政状態に関する説明**

資産、負債および純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ86億95百万円増加（前期比3.2%増）し、2,787億34百万円となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金と投資有価証券の増加です。

負債につきましては、前期末に比べ1億37百万円減少（前期比0.1%減）し、993億15百万円となりました。

純資産につきましては、前期末に比べ88億32百万円増加（前期比5.2%増）し、1,794億18百万円となりました。

**（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

2016年11月2日に公表しました通期連結業績予想を下表のとおり修正しています。

詳細につきましては、本日（2017年2月3日）別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

[2017年3月期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	221,500	18,500	18,100	12,300	119.14
今回修正予想（B）	223,000	19,500	20,000	13,700	132.81
増減額（B-A）	1,500	1,000	1,900	1,400	
増減率（%）	0.7	5.4	10.5	11.4	
（ご参考）前期実績 （2016年3月期）	222,746	19,300	19,569	13,259	128.38

**2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**
**（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

会計方針の変更

（2016年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「2016年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 2016年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,367	43,809
受取手形及び売掛金	45,444	51,413
有価証券	4,733	6,326
商品及び製品	20,702	19,835
仕掛品	4,323	4,798
原材料及び貯蔵品	14,944	15,120
その他	6,768	7,291
貸倒引当金	△207	△190
流動資産合計	145,076	148,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,496	22,583
機械装置及び運搬具（純額）	26,266	26,627
土地	21,210	21,116
その他（純額）	7,556	7,296
有形固定資産合計	78,529	77,623
無形固定資産		
のれん	155	268
その他	3,663	3,606
無形固定資産合計	3,818	3,875
投資その他の資産		
投資有価証券	33,472	40,151
その他	9,141	8,678
投資その他の資産合計	42,613	48,829
固定資産合計	124,962	130,329
資産合計	270,038	278,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,505	34,699
短期借入金	17,406	17,239
1年内償還予定の社債	—	7
未払法人税等	2,551	1,761
賞与引当金	2,133	1,107
その他の引当金	69	50
その他	10,324	8,863
流動負債合計	65,991	63,728
固定負債		
社債	—	304
長期借入金	10,814	12,431
退職給付に係る負債	15,707	15,999
その他の引当金	160	241
その他	6,779	6,610
固定負債合計	33,461	35,587
負債合計	99,452	99,315
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,926	19,926
利益剰余金	110,764	120,257
自己株式	△227	△569
株主資本合計	153,363	162,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,490	8,413
土地再評価差額金	4,276	4,276
為替換算調整勘定	4,082	△168
退職給付に係る調整累計額	△2,904	△2,670
その他の包括利益累計額合計	9,945	9,850
非支配株主持分	7,276	7,053
純資産合計	170,586	179,418
負債純資産合計	270,038	278,734

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上高	167,588	165,636
売上原価	128,066	124,503
売上総利益	39,521	41,132
販売費及び一般管理費	24,668	25,581
営業利益	14,853	15,550
営業外収益		
受取利息	207	192
受取配当金	338	340
持分法による投資利益	—	216
その他	238	395
営業外収益合計	784	1,144
営業外費用		
支払利息	336	291
持分法による投資損失	126	—
為替差損	316	195
その他	337	264
営業外費用合計	1,117	751
経常利益	14,520	15,943
特別利益		
投資有価証券売却益	—	150
特別利益合計	—	150
特別損失		
有形固定資産除却損	338	144
投資有価証券評価損	29	—
関係会社出資金評価損	—	146
特別損失合計	368	291
税金等調整前四半期純利益	14,152	15,803
法人税、住民税及び事業税	3,297	3,828
法人税等調整額	315	202
法人税等合計	3,613	4,030
四半期純利益	10,539	11,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	601	709
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,937	11,063



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期純利益	10,539	11,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150	2,426
為替換算調整勘定	△1,652	△5,185
退職給付に係る調整額	171	215
持分法適用会社に対する持分相当額	23	51
その他の包括利益合計	△1,607	△2,492
四半期包括利益	8,932	9,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,501	9,504
非支配株主に係る四半期包括利益	430	△224

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	116,418	46,013	162,431	5,157	167,588	—	167,588
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	146	13	159	9,192	9,351	△9,351	—
計	116,564	46,026	162,591	14,349	176,940	△9,351	167,588
セグメント利益	13,257	1,206	14,464	439	14,903	△50	14,853

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△50百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	109,954	49,476	159,431	6,204	165,636	—	165,636
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	13	131	9,194	9,325	△9,325	—
計	110,072	49,490	159,562	15,398	174,961	△9,325	165,636
セグメント利益	13,516	1,739	15,255	346	15,602	△52	15,550

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△52百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。